

平成21年度 第3回港区3R推進行動会議議事要旨

平成22年2月18日

まとめ

- ・ 2月20日(土)に段ボールコンポスト作戦会議を開催
- ・ 3月11(木)～15日(月)にフォーラムを開催

1 区挨拶

- ・ 臼井清掃事務所長より挨拶。
- ・ 今年度新たに創設した、ごみ減量優良事業者等表彰制度の表彰式を行なった。
- ・ 平成18年度から20年度において、事業系ごみ量は約150,000tから約138,000tに減少し、再利用率は50.7%から52.3%に上昇した。
- ・ コスト削減のためにも、事業系ごみの削減が港区の行政課題である。

2 段ボールコンポストの取り組みについて

事務局からの説明

- ・ 2月20日(土)エコプラザにて、段ボールコンポスト作戦会議を開催する。
- ・ 失敗例や成功例を共有し、ネットワークづくりを行なう。
- ・ ベランダでできる段ボールコンポストハンドブックを作成し、広報に活用する。

主な意見

- ・ 段ボールコンポストに興味がある。継続できるかが心配。
- ・ コンポストづくりなど、まず個人で始めることが大切。
- ・ 口コミでネットワークが広がることもある。
- ・ ネットワークづくりの担い手になるよう、参加者を育てることも必要。
- ・ 一部地域だけの取り組みでなく新住民地域にも広げて、港区を循環型地域にしたい。
- ・ コンポストに関連した年間スケジュールがあると、継続しやすいのではないか。
例:生ごみの少ない料理 コンポスト 堆肥を使ったグリーンカーテン 生ごみの少ない料理
- ・ コンポストで作った堆肥の使い道や受け入れ先が明確でないと、始められない。
- ・ 港区だけでなく23区では、プランター土の処分方法に困っている。(港区)
- ・ 区の施設や大学農学部、個人的な農家との連携ができるのが理想。
- ・ コンポストを始める広報より、まず生ごみ減量の周知徹底が必要。
- ・ 区から清掃協力会へも広報をしてほしい。

3 3Rフォーラム開催案内及び運営について

事務局からの説明

- ・ 3月11(木)～15日(月)エコプラザにて、フォーラムを開催する。
- ・ 展示ブースは5日間の常設とし、3R推進行動会議の他、関連する14団体を募集する。
- ・ 11日(木)13:30より、事業者向け研究会として積水化学工業(株)を見学し、意見交換を行なう。
- ・ 13日(土)13:00より、3R講談とトークリレーを行なう。終了後の展示ブースでは、3R行動会議委員に協力をお願いしたい。

主な意見

- ・ 学生など、若い世代にも広報してほしい。
- ・ 今後は、若い世代が興味を持つゲストを招いてほしい。
- ・ チラシをスーパーなどの店頭に掲示してもらうなど、広報の工夫が必要。
- ・ 展示の募集14団体のうち、2～3団体は事業者をお願いしたい。
- ・ 事業者研究会とトークリレーの募集人数が少なすぎる。
- ・ 来場見込人数やスタッフ配置人数も、企画段階で設定しておくといい。
- ・ エコプラザは分かりにくいので、浜松町駅からの案内をする必要がある。
- ・ 協力的な人ばかりに偏らないよう、3R委員の足並みを揃えなくてはいけない。

4 次年度の取り組み（意見交換）

事務局からの説明

- ・ 今年度区民の興味が高かった事業は、次年度も継続実施させていきたい。

主な意見

- ・ 楽しい、やりたい時に参加できる、続けられるアイデアがほしい。
- ・ 廃食油や古着の回収も続けてほしい。
- ・ 段ボールコンポストや野菜づくりは、学校で取り組めば家庭へも広がるのではないか。
- ・ 事業者にとってごみ減量やCSRはやらなければならない事業になりつつあるので、方法さえレクチャーすればすぐに広まる。
- ・ 地域コミュニティの繋がりをつくるためにモデル地域を設定し、事業者と住民の顔が見える活動を進めてみてはどうか。
- ・ ドギーバッグのデザイン公募など、若い世代の話題になるような事業を行なってほしい。
- ・ 歩きたばこや打ち水のように、弁当ガラ削減のキャンペーンをするといい。
- ・ ボランティアではなく、ビジネスにつながるような事業を考えてほしい。
- ・ 全体の事業に繋がるといい。
- ・ 3R推進行動会議の年間スケジュールを出してほしい。
- ・ 区民が問題を自覚するよう、区が手をかけすぎないことも必要。
- ・ 来年度には、優良集積所の表彰を開始する。（清掃事務所）

5 その他

連絡事項

- ・ 清掃リサイクル課と環境課が統合し部に編制されるので、連携がしやすくなる。
- ・ 次年度の委員依頼は、改めて連絡する。